

製品名: BinCARD ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07567**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	C9orf89
別名	C9orf89; Bcl10-interacting CARD protein; BinCARD
遺伝子 ID	84270.0
SwissProt ID	Q96LW7
免疫原	抗血清はヒト C9orf89 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

背景

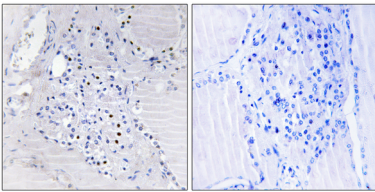
機能: BCL10 誘導性 NF- κ B 活性化の阻害に関与する。CARD 依存的に BCL10 のリン酸化を阻害する可能性がある。PTM: アイソフォーム 2 は、DNA 損傷時に ATM または ATR によると考えられるリン酸化を受ける。類似性: 1 つの CARD ドメインを含む。細

胞内局在: BCL10 との共発現により、核から細胞質への移行が誘導される。、サブユニット: CARD-CARD 相互作用により BCL10 と関連する。、組織特異性: 卵巣、精巣、胎盤、骨格筋、腎臓、肺、心臓、肝臓 (タンパク質レベル) に発現する。胸腺と脳にも発現する。、機能: BCL10 誘導性 NF- κ B 活性化の阻害に関与する。CARD 依存的に BCL10 のリン酸化を阻害する可能性がある。、PTM: アイソフォーム 2 は、DNA 損傷時に ATM または ATR によってリン酸化されると考えられる。、類似性: 1 つの CARD ドメインを含む。、胞内局在: BCL10 との共発現により、核から細胞質への移行が誘導される。、サブユニット: CARD-CARD 相互作用によって BCL10 と結合する。、組織特異性: 卵巣、精巣、胎盤、骨格筋、腎臓、肺、心臓、肝臓 (タンパク質レベル) で発現する。胸腺と脳でも発現する。、

研究分野

-

画像データ



C9orf89 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト甲状腺組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。